令和6年度

財 務 書 類

自 令和 6年 4月 1日 至 令和 7年 3月31日

貸借対照表

(令和 7年 3月31日現在)

【資産の部】 固定資産 有形固定資産 事業用資産 土地 立木竹 建物	金額 710,245 547,384 - 841,720 公 294,336 - - -	地方債 長期未払金 退職手当支給準備金 損失補償等引当金 その他	金額 7,489,889,643 - 7,489,889,643 - - 0 - -
固定資産 有形固定資産 事業用資産 土地 立木竹 建物 建物減価償却累計額 工作物 工作物減価償却累計額	59,472,021 710,245 547,384 - - 841,720	固定負債 地方債 長期未払金 退職手当支給準備金 損失補償等引当金 その他 流動負債 1年内償還予定地方債 未払金 未払費用 前受金	7,489,889,643 - - -
固定資産 有形固定資産 事業用資産 土地 立木竹 建物 建物減価償却累計額 工作物 工作物減価償却累計額	59,472,021 710,245 547,384 - - 841,720	固定負債 地方債 長期未払金 退職手当支給準備金 損失補償等引当金 その他 流動負債 1年内償還予定地方債 未払金 未払費用 前受金	7,489,889,643 - - -
有形固定資産 事業用資産 土地 立木竹 建物 建物減価償却累計額 工作物 工作物減価償却累計額	710,245 547,384 - - 841,720	地方債 長期未払金 退職手当支給準備金 損失補償等引当金 その他 流動負債 1年内償還予定地方債 未払金 未払費用 前受金	7,489,889,643 - - -
事業用資産 土地 立木竹 建物 建物減価償却累計額 工作物 工作物減価償却累計額	547,384 - - 841,720	長期未払金 退職手当支給準備金 損失補償等引当金 その他 流動負債 1年内償還予定地方債 未払金 未払費用 前受金	-
土地 立木竹 建物 建物減価償却累計額 工作物 工作物減価償却累計額	- 841,720	退職手当支給準備金 損失補償等引当金 その他 流動負債 1年内償還予定地方債 未払金 未払費用 前受金	-
立木竹 建物 建物減価償却累計額 工作物 工作物減価償却累計額		損失補償等引当金 その他 流動負債 1年内償還予定地方債 未払金 未払費用 前受金	-
建物 建物減価償却累計額 工作物 工作物減価償却累計額		その他 流動負債 1年内償還予定地方債 未払金 未払費用 前受金	_ 0 _ _ _ _
建物減価償却累計額 工作物 工作物減価償却累計額		流動負債 1年内償還予定地方債 未払金 未払費用 前受金	- 0 - - -
工作物 工作物減価償却累計額	\(294,336 \)	1年内償還予定地方債 未払金 未払費用 前受金	0 - - -
工作物減価償却累計額	- - - -	未払金 未払費用 前受金	- - -
工作物減価償却累計額	- - -	未払金 未払費用 前受金	- - -
	-	未払費用 前受金	-
ם בייני בייניי	-	前受金	-
船舶減価償却累計額	- -		_
	_	則文収益	ī
浮標等	_	10 t tt	_
浮標等減価償却累計額	_	賞与等引当金	_
航空機	_	預り金	-
航空機減価償却累計額	_	その他	_
その他	_	負債合計	7,489,889,643
その他減価償却累計額	_	【純資産の部】	1,122,230,010
建設仮勘定		固定資産等形成分	69,582,378
	_		
インフラ資産	_	余剰分(不足分)	104,676,390
土地	-		
建物	_		
建物減価償却累計額	_		
工作物	_		
工作物減価償却累計額	_		
その他	_		
その他減価償却累計額	_		
建設仮勘定	_		
物品	286,000		
物品減価償却累計額 🗸	123,139		
	2,449,333		
	2,449,333		
その他	2,440,000		
	0.010.440		
** ** * * * * * * * * * * * * * * * * *	6,312,443		
投資及び出資金	_		
有価証券	_		
出資金	-		
その他	-		
投資損失引当金	_		
長期延滞債権	_!		
長期貸付金			
	6,312,443		
減債基金	-		
その他 7,55	6,312,443		
その他	-		
徴収不能引当金	_		
	4,676,390		
	4,676,390		
未収金	-		
短期貸付金	-		
基金	0		
	0		
減債基金	_		
棚卸資産	_		
その他	-		
徴収不能引当金		純資産合計	174,258,768
資産合計 7,66	4,148,411	負債及び純資産合計	7,664,148,411

【様式第2号】

行政コスト計算書

自 令和 6年 4月 1日 至 令和 7年 3月31日

科目	金額
	1,532,703,919
業務費用	58,356,817
人件費	53,690,251
職員給与費	53,250,251
賞与等引当金繰入額	_
退職手当引当金繰入額	_
その他	440,000
物件費等	4,666,566
物件費	3,616,852
維持補修費	_
減価償却費	1,049,714
その他	-
その他の業務費用	0
支払利息	-
徴収不能引当金繰入額	-
その他	-
移転費用	1,474,347,102
補助金等	49,771,400
社会保障給付	-
他会計への繰出金	-
その他	1,424,575,702
経常収益	62,636,626
使用料及び手数料	-
その他	62,636,626
純経常行政コスト	1,470,067,293
臨時損失	0
災害復旧事業費	_
資産除売却損	-
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	0
資産売却益	-
その他	_
純行政コスト	1,470,067,293

1]以コペト計算者に除る1]以日的別の明神 (早)								
区分	退職手当事業	消防団員等事業	非常勤補償事業	合計				
経常費用	1,434,568,382	97,759,346	376,191	1,532,703,919				
業務費用	57,501,010	571,918	283,889	58,356,817				
人件費	53,231,357	251,463	207,431	53,690,251				
職員給与費	52,913,382	249,960	86,909	53,250,251				
賞与等引当金繰入額	_	-	-	-				
退職手当引当金繰入額	_	-	-	-				
その他	317,975	1,503	120,522	440,000				
物件費等	4,269,653	320,455	76,458	4,666,566				
物件費	3,219,939	320,455	76,458	3,616,852				
維持補修費	_	-	-	-				
減価償却費	1,049,714	-	-	-				
その他	_	-	I	-				
その他の業務費用	0	0	0	0				
支払利息	_	-	-	-				
徴収不能引当金繰入額	_	-	-	-				
その他	_	-	-	-				
移転費用	1,377,067,372	97,187,428	92,302	1,474,347,102				
補助金等	106,000	49,659,400	6,000	49,771,400				
社会保障給付	_	_		ı				
他会計への繰出金	_	_		ı				
その他	1,376,961,372	47,528,028	86,302	1,424,575,702				
経常収益	15,054,984	47,581,438	204	62,636,626				
使用料及び手数料	_	_		ı				
その他	15,054,984	47,581,438	204	62,636,626				
純経常行政コスト	1,419,513,398	50,177,908	375,987	1,470,067,293				
臨時損失	0	0	0	0				
災害復旧事業費	_	_	-	_				
資産除売却損	_	-	1	-				
投資損失引当金繰入額	_	-	1	-				
損失補償等引当金繰入額	_	_	_	_				
その他	_	_	_	_				
臨時利益	0	0	0	0				
資産売却益	_	_	_	-				
その他	_	_	_	_				
純行政コスト	1,419,513,398	50,177,908	375,987	1,470,067,293				

純資産変動計算書

自 令和 6年 4月 1日 至 令和 7年 3月31日

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	7,510,876,378	7,454,320,531	56,555,847
純行政コスト(△)	△ 1,470,067,293		△ 1,470,067,293
財源	1,623,339,326		1,623,339,326
税収等	1,623,339,326		1,623,339,326
国県等補助金			_
本年度差額	153,272,033		153,272,033
固定資産等の変動(内部変動)		105,151,490	△ 105,151,490
有形固定資産等の増加		0	0
有形固定資産等の減少		△ 1,049,714	1,049,714
貸付金・基金等の増加		106,201,204	△ 106,201,204
貸付金・基金等の減少		_	_
資産評価差額	_	_	
無償所管換等	-	_	
その他	_	-	_
本年度純資産変動額	153,272,033	105,151,490	48,120,543
本年度末純資産残高	7,664,148,411	7,559,472,021	104,676,390

【様式第4号】

資金収支計算書

自 令和 6年 4月 1日 至 令和 7年 3月31日

	(単位:円)
科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	1,531,654,205
業務費用支出	57,307,103
人件費支出	53,690,251
物件費等支出	3,616,852
支払利息支出	-
その他の支出	_
移転費用支出	1,474,347,102
補助金等支出	49,771,400
社会保障給付支出	-
他会計への繰出支出	_
その他の支出	1,424,575,702
業務収入	1,685,975,952
税収等収入	1,623,339,326
	1,023,339,320
国県等補助金収入	
使用料及び手数料収入	-
その他の収入	62,636,626
臨時支出 "中华"表表表表	Ü
災害復旧事業費支出	_
その他の支出	_
臨時収入	0
業務活動収支	154,321,747
【投資活動収支】	
投資活動支出	106,201,204
公共施設等整備費支出	0
基金積立金支出	106,201,204
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	_
その他の支出	_
投資活動収入	0
国県等補助金収入	_
基金取崩収入	-
貸付金元金回収収入	-
資産売却収入	-
その他の収入	_
投資活動収支	△ 106,201,204
【財務活動収支】	
財務活動支出	0
地方債償還支出	_
その他の支出	_
財務活動収入	0
地方債発行収入	_
その他の収入	_
財務活動収支	0
本年度資金収支額	48,120,543
前年度末資金残高	56,555,847
本年度末資金残高	104,676,390
	, ,

前年度末歳計外現金残高	_
本年度歳計外現金増減額	_
本年度末歳計外現金残高	0
本年度末現金預金残高	104,676,390

【様式第5号】

附属明細書

- 1. 貸借対照表の内容に関する明細
- ※下記以外の資産及び負債のうち、その額が資産総額の100分の5を超える科目についても作成する。
- (1)資産項目の明細
- ①有形固定資産の明細

(単位:円)

① 13 // 日 / C / C / C / C / C / C / C / C / 							
区分	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	本年度末残高 (A)+(B)-(C)	本年度末 減価償却累計額	本年度償却額	差引本年度末残高 (D)-(E)
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)
事業用資産	841,720	1	ı	841,720	294,336	107,507	547,384
土地	-	1	ı	ı	-	ı	-
立木竹	-	1	ı	ı	-	ı	-
建物	841,720	1	ı	841,720	294,336	107,507	547,384
工作物	-	1	ı	ı	-	ı	-
船舶	-	1	ı	ı	-	ı	-
浮標等	-	1	ı	ı	-	ı	-
航空機	-	_	-	-	-	_	-
その他	-	_	-	-	-	_	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	_	-
インフラ資産	_	1	1	1	_	ı	-
土地	-	1	ı	ı	-	ı	-
建物	-	ı	I	I	-	1	
工作物	-	1	ı	ı	-	ı	-
その他	_	-		ı	_	ı	_
建設仮勘定	_	-		ı	_	ı	_
物品	286,000		-	286,000	123,139	47,666	162,861
合計	1,127,720	_	_	1,127,720	417,475	155,173	710,245

②有形固定資産の行政目的別明細

区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	合計
事業用資産	_	ı	ı	ı	-	1	547,384	547,384
土地	_	ı	I	ı	-	ı	_	ı
立木竹	_	ı	I	ı	-	ı	_	ı
建物	_	Ī	Ī	ı	-	Ι	547,384	547,384
工作物	_	Ī	Ī	ı	-	Ι	-	ı
船舶	_	Ī	Ī	ı	-	Ι	-	ı
浮標等	_	Ī	Ī	ı	-	Ι	-	ı
航空機	_	Ī	Ī	ı	-	Ι	-	ı
その他	_	Ī	Ī	ı	-	Ι	-	ı
建設仮勘定	_	Ī	Ī	ı	-	Ι	-	I
インフラ資産	_	Ī	Ī	ı	-	Ι	-	I
土地	_	Ī	Ī	ı	-	Ι	-	I
建物	-	-	=	-	-	-	-	-
工作物	-	-	=	-	-	-	-	_
その他	_	-	-	ı	_	ı	_	_
建設仮勘定	_	-	-	ı	_	ı	_	-
物品	_	-		-	-	-	162,861	162,861
合計	_	Ī	1	I	-	ı	710,245	710,245

④基金の明細 (単位:円)

種類	現金預金	有価証券	土地	その他	合計 (貸借対照表計上額)	(参考)財産に関する 調書記載額
退職手当基金積立金	5,990,000,000	1,499,889,643	0	0	7,489,889,643	7,489,889,643
消防補償基金積立金	54,217,698	0	0	0	54,217,698	54,217,698
非常勤補償基金積立	12,205,102	0	0	0	12,205,102	12,205,102
合計	6,056,422,800	1,499,889,643	0	0	7,556,312,443	7,556,312,443

2. 行政コスト計算書の内容に関する明細(1)補助全等の明細

<u>(1)補助金等の明細</u>				(単位:円)
区分	名称	相手先	金額	支出目的
他団体への公共施設等整備補助金				
等 (所有外資産分)				
())"有,作员连刀 /	計		0	
	令和6年度分担金	全国退職手当組合 協議会	100,000	全国組織に係る分担 金
	令和6年度掛金	消防団員等公務災 害補償等共済基金	49,647,400	消防災害補償に係る 掛金
7 0 11 0 1 1 1 1 A 11	都道府県退職手当組合 職員研修会負担金	全国退職手当組合 協議会	6,000	研修会にかかる負担 金
その他の補助金等	中国四国消防補償等事 務連絡会議負担金	愛媛県市町村総合 事務組合	12,000	会議にかかる負担金
	中国四国非常勤職員公 務災害補償等事務連絡 会議負担金	愛媛県市町村総合 事務組合	6,000	会議にかかる負担金
	計		49,771,400	
合計			49,771,400	

(単位:四)

3. 純資産変動計算書の内容に関する明細

(1)財源の明細 (単位:円)

	1/貝/湯の明治						
会計	区分		財源の内容				
		一般負担金		1,384,733,388			
		特別負担金		215,074,938			
	税収等	給与費負担金	<u>.</u>	23,531,000			
			小計	1,623,339,326			
		資本的					
普通会計		補助金					
			計				
	国県等補助金						
		経常的					
		補助金					
			計				
			小計				
		合計					

(2)財源情報の明細 (単位:円)

区分	A 65	内訳					
	金額	国県等補助金	地方債	税収等	その他		
純行政コスト	1,469,898,752	0	0	1,469,898,752	0		
有形固定資産等の増加	0	0	0	0	0		
貸付金・基金等の増加	106,201,204	0	0	92,306,631	13,894,573		
その他	0	0	0	0	0		
合計	1,576,099,956	0	0	1,562,205,383	13,894,573		

4. 資金収支計算書の内容に関する明細

(1)資金の明細 (単位:円)

種類	本年度末残高
要求払預金	104,676,390
合計	104,676,390

財務諸表に係る注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産

退職手当事務総合処理システムのソフトウェア開発、改修経費のうち10万円以上の ものを無形固定資産に計上している。定額法により月割で減価償却を行っている。 有形固定資産についても同様の取扱いとしている。

(2) 流動資産

資金は、鳥取県内に本支店のある金融機関を利用し、普通預金、定期預金、債権及び 金銭信託により運用している。

(3) 引当金

引当金については、組合の性質上計上していない。

(4) 負担金の仕訳

財源として、各構成団体より一般負担金及び特別負担金を徴収しており、資金仕訳は 税収等としている。

また、鳥取県町村会より給与費負担金を収入しており、資金仕訳は税収等としている。 (付属明細書「3.純資産変動計算書の内容に関する明細」に記載のとおり)

(5) 行政コスト計算書に係る行政目的別の明細の仕訳方法

組合の行政目的を、退職手当事業、消防団員等事業及び非常勤補償事業の3事業で仕 訳けるにあたっては、共通経費部分を3事業それぞれの基本収入である一般負担金の 比率により按分し算出している。

2 重要な会計方針の変更等

なし

3 重要な後発事象

なし

4 偶発債務

なし

5 その他

(1) 非常勤補償事業の余剰額の処理

非常勤補償事業において年度末に余剰額が発生することとなり、同事業の将来負担の 軽減のために2,000,000円の余剰額を基金に積み上げた。